

もばら の 議会だより

第116号
平成 25年 5月 15日
発行 茂原市議会報編集委員会
〒297-8511 茂原市道表1番地
電話 0475-20-1585
FAX 0475-20-1611
http://www.city.mobara.chiba.jp/

平成25年度予算など38議案 並びに発議案4件を可決

平成25年第1回定例会は、2月20日から3月13日までの会期22日間で開かれました。
この定例会では、市長から平成25年度茂原市一般会計予算をはじめとした予算関係10議案並びに茂原市子ども子育て審議会条例案など28議案の計38議案が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決されました。
また、今定例会中に提出されました発議案4件も可決されました。

一般質問

3月定例会における一般質問は、2月27日、28日の2日間にわたり7名の議員により行われました。

自然エネルギーを活用した

街づくりの取り組みについて
関 好治 議員
(もばら21)

問 自然エネルギーを活用した街づくりを推進するため、長い間、遊休地となっている西部地区開発事業用地の有効活用を兼ねて、太陽光発電事業等に利用する計画が検討されているが、事業内容と今後の見通しについて伺う。

答 メガソーラー事業の活用については市が自ら事業者となつてリース会社と賃貸借契約を結ぶ方式と発電事業者に土地の貸付を行う2つの方式を考えている。その中で、いずれの方式がメリットが大きく、リスクが少ないかを検討している。今後はリスクマネジメントについて速やかに結論を出し、公募要件を策定し、公募型プロポーザル方式で選定したいと考えている。また、計画を進めるにあたって適切な時期に地元説明会を開催し、意見を参考にさせていただきたいと考えている。

その他の質問事項

- ・平成25年度予算について
- ・土地開発公社について
- ・環境行政について
- ・国保事業について
- ・道路整備について

予防接種の全額公費助成 について

加賀田 隆志 議員
(公明党)

問 平成25年4月から3ワクチンの定期接種化で市の負担が1億円弱減る。これを機に全ワクチンを公費で行えるようにならないか。また、がん検診、人間ドックの検査項目に胃がんリスクの高いピロリ菌の検査を入れるかどうか。

答 予防接種に対する公費助成については国ではおたふくかぜ、水ぼうそう等のワクチン接種についても予算が確保され次第、順次定期接種に追加するとも聞いているので、国の動向や他市の状況を注視していきたい。
胃がん検診は現在、国が示す指針に基づき実施しており、ピロリ菌検査は含まれていないので、今後の動向を注視していきたい。
人間ドックの検査項目にピロリ抗体検査を追加することについては現在、胃がん検査としてレントゲン又は内視鏡検査を実施しているが、発生リスクの判定には有効な手段であるので今後、地元医師会と協議していきたい。

その他の質問事項

- ・H24年度補正予算とH25年度の予算について
- ・市役所の事務処理について
- ・議員の地域担当制について
- ・安全・防災対策について

財政関係について

竹本 正明 議員
(政友会)

問 25年度の市税収入は前年度比3億6千万円の減となり、今後も企業の業績不振、人口減少で厳しい状況が予想される。税収増対策として、ふるさと納税制度や自動車税の徴収代行による手数料増のため、広報等で周知・啓蒙を図るべきと考えますが、ふるさと寄附基金条例の制定についての考えは。

答 ふるさと納税制度は歳入の確保につながることから、これまでホームページを通じて周知を行っており、個人の方からの寄付金は平成23年度で8件25万円余、本年1月末現在で14件310万円余という状況である。
県税の収納代理については取扱金額の2%が県からの委託金として交付されており、平成24年度は19,8万9,539円となつている。その大部分が自動車税で、現在は職員に納付の協力を依頼しているが、今後は市民に対しても広報等で周知を図り、手数料の増額に努めていきたい。
寄附金の使途を指定された場合は寄附された方の意向を反映して適宜執行しており、他市において使い道を指定できる寄附金条例を制定し、受け皿として